

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-142	23-324	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
Peer-led BASICS intervention to reduce alcohol consumption and alcohol-related consequences among university students: a randomized controlled trial. 大学生のアルコール摂取量とアルコール関連問題を減らすためのピア・リーダーによる BASICS 介入：ランダム化比較試験		
執筆者		
Lavilla-Gracia M, Pueyo-Garrigues M, Calavia Gil D, Esandi-Larramendi N, Alfaro-Diaz C		
掲載誌		
Front Public Health. 2023 Oct 31;11:1280840. doi: 10.3389/fpubh.2023.1280840. eCollection 2023.		
キーワード	PMID	
大学生、ピア・リーダー介入、アルコール摂取量	38026297	
要旨		
<p><b>はじめに：</b>アルコール摂取は大学生生活において最も多く見られる乱用物質であり、身体的、法的、情緒的、社会的、認知的な影響を伴う。ピア主導の BASICS 介入は、飲酒量と頻度、推定ピーク血中アルコール濃度 (BAC)、および大量飲酒のエピソード数を減少させるのに有効であることが示されている。</p> <p><b>目的：</b>本研究では、スペインの大学生を対象に、ピア主導の BASICS 介入の危険なアルコール摂取を減らす効果を評価した。</p> <p><b>材料および方法：</b>2022 年 10 月から 2023 年 3 月の間に募集したスペイン北部の大学 1 年生および 2 年生 308 名を対象とした 2 群ランダム化比較試験。介入は、ピア主導の動機づけ面接を 30 分間直接行うというものであった。参加者はベースライン時と介入後 1 か月目に評価された。主要評価項目は、典型的な 1 週間のアルコール摂取量と頻度であった。介入効果は、混合要因 2 元配置分散分析モデルを用いて検証された。</p> <p><b>結果：</b>介入を受けた学生は、対照群の学生と比較して、1 週間の飲酒回数を 5.7 回 (95% CI 5.54、5.86) 減少させ、典型的な週末の飲酒回数を 5.2 回 (95% CI 5.07、5.33) 減少させ、最も大量に飲酒した際の飲酒量は 4.9 (95% CI 4.78、5.02) 減少、大量飲酒のエピソード数は 1.4 (95% CI 1.37、1.43) 減少、典型的な週のピーク BAC 値と最も大量に飲酒した際のピーク BAC 値はそれぞれ 0.06 (95% CI 0.058、0.062) および 0.09 (95% CI 0.088、0.092) 減少した。アルコール関連の事象の数は 5.8 (95% CI 5.67、5.93) 減少した。また、アルコール使用を改めようという動機は -0.8 (95% CI -0.85、-0.75) 増加した。</p> <p><b>結論：</b>ピア主導の BASICS 介入は、スペインの大学生のアルコール消費とその関連結果を短期間で変えるのに効果的である。看護学生がカウンセラーとして行動することは、彼らの仲間の飲酒パターンにプラスの影響を与えた。</p>		